

透析患者の医療情報管理と、災害時対策における効率的な医療連携を目的としたクラウド型電子透析手帳の開発について

平成27年6月26日

株式会社塚田メディカル・リサーチ

アヴァシス株式会社

株式会社塚田メディカル・リサーチ(以下、「塚田メディカル」)は、アヴァシス株式会社(以下、「アヴァシス」)とともに、透析患者の医療情報管理と、災害時における効率的な医療連携を目的としたクラウド型電子透析手帳(以下、電子透析手帳)を開発致しました。先の東日本大震災では、透析患者個別の医療情報(透析実施条件、使用機器など)が把握出来ず、また、対応できる施設が遠方となり、医療連携においても混乱を引き起こしました。

そこで、我々は、クラウドサービスを利用して、日々の透析経過ならびに血液検査データを、医療従事者の作業負担に影響せずに連携可能、また医療機関と患者とが双方向に情報共有可能な「電子透析手帳」を初めて開発しました。この電子透析手帳は、「見たい時に、見たい場所で、最新のデータを確認すること」が可能なシステムとなっております。また、患者側から日々の食事や処方箋などを画像によってアップロード可能なWEBアプリも搭載しており、医療施設側と患者側とが双方向で情報共有可能なシステムとなっております。なお、スマートフォンなどを利用しづらい高齢者の方々は、QRコードを印字したカードを御利用頂く事で、緊急時・災害時において御利用頂けるシステムとなっております。また、本システムを開発する上で、東レ・メディカル株式会社(透析基本条件、透析実施経過表の情報共有)ならびに株式会社ビー・エム・エル(血液検査データの情報共有)の開発協力を得て進めて参りました。

今後の展開と致しましては、医療法人慈修会上田腎臓クリニックや、他の基幹病院の協力を得て、今秋以降、実使用における検討を開始致します。また、検証結果を考察し、改良および修正を行った後、御理解を頂いた医療施設ならびに患者会に対して、段階的にサービス展開していく予定です。なお、本システムは、平成25年度補正 中小企業・小事業者ものづくり・商業・サービス革新事業の支援を受けて開発致しました。

なお、平成27年6月26日(金)～28日(日)に開催されます第60回日本透析医学会学術集会(パシフィコ横浜)にて、医療法人慈修会上田腎臓クリニック塚田渉先生から、本システムについて、ならびに患者アンケート結果についてご発表頂く予定です。(学会ホームページ:<http://www2.convention.co.jp/60jsdt/>)

NEWS RELEASE

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社塚田メディカル・リサーチ 社長付開発室 室長 仲佐

〒386-2202 長野県上田市真田町本原 1931-1

Tel: 0268-72-5370 Fax: 0268-72-9755

アヴァシス株式会社 事業推進本部 事業推進3部 マネージャー 富澤

〒386-1211 長野県上田市下之郷浅間原 813-21 上田リサーチパーク内

Tel: 0268-37-1350 Fax: 0268-37-1351

電子透析手帳の画面例：



図1 ログイン画面



図2 基本条件画面

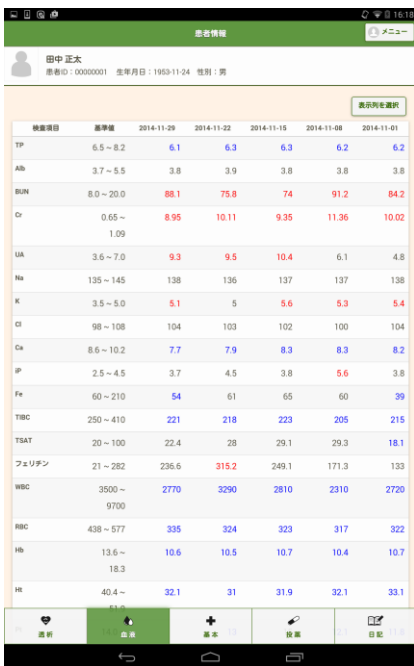


図3 血液検査データ



図4 透析経過表